

令和 5 年 度

蓮 田 白 岡 衛 生 組 合
一般会計歳入歳出決算審査意見書
及び行政監査結果報告書

蓮田白岡衛生組合監査委員

写

監 第 6 号
令和6年9月10日

蓮田白岡衛生組合
管理者 山口京子 様

蓮田白岡衛生組合監査委員 小 林 猛

蓮田白岡衛生組合監査委員 斎 藤 信 治

令和5年度蓮田白岡衛生組合決算審査意見書について（提出）

地方自治法第233条第2項の規定により監査委員の審査に付された、令和5年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算について審査したので、意見書を提出します。

写

監 第 6 号
令和6年9月10日

蓮田白岡衛生組合
管理者 山口京子様
蓮田白岡衛生組合議会
議長 江原浩之様
蓮田白岡衛生組合公平委員会
委員長 金子勇二様

蓮田白岡衛生組合監査委員 小林 猛

蓮田白岡衛生組合監査委員 斎藤 信治

令和6年度蓮田白岡衛生組合行政監査結果報告書について（提出）
地方自治法第199条第2項の規定による行政監査を実施したので、結果報告書
を提出します。
なお、この行政監査は、決算審査と併せて実施したものです。

目 次

一般会計歳入歳出決算審査意見書及び行政監査結果報告書

第1	審査の対象	-----	2
第2	審査の期日	-----	2
第3	審査の方法	-----	2
第4	審査の結果	-----	2
第5	決算の概要	-----	2
第6	歳入決算額の状況	-----	4
第7	歳出決算額の状況	-----	1 0
第8	財産に関する調書	-----	1 4
第9	むすび	-----	1 5

【凡 例】

- 1 文中及び表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、差額又は合計金額が一致しない場合がある。四捨五入の結果「0」と表記されている数字もある。
- 2 比率「%」は、表示単位未満を四捨五入した。このため、計数が一致しない場合がある。
- 3 表中の「△」印は、マイナスを表すものとした。
- 4 文章中、「皆増」は前年度に数値がなく当年度に発生したものである。また、「皆減」は前年度に数値があり当年度に発生しなかったものである。

一般会計歳入歳出決算審査意見書
及び行政監査結果報告書

第1 審査の対象

令和5年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算

第2 審査の期日

令和6年8月22日（木）

第3 審査の方法

審査に当たっては、令和6年7月19日に管理者から審査に付された令和5年度の蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書に基づき、各計数の正確性を確認するとともに、関係法令に準拠して作成されているか確認した。

また、蓮田白岡衛生組合監査基準に基づき、予算の執行状況が関係法令に適合し、経済的、効率的かつ効果的に事業が執行されているか、慎重に審査した。

なお、各課（室）から提出された令和5年度決算審査に係る業務等報告書、主要事業報告書、歳入歳出決算資料及び契約に関する資料等に基づき、総合的に会計管理者及び事務局長から業務及び決算状況についての説明を受けた後、各所属長から歳入歳出決算等について説明を求め審査を行った。また、疑問点等については、追加資料の提出を求め確認した。

工事審査は、2号炉火格子下コンベヤケーシング等交換工事及び遠心分離機比率設定器更新工事について、当該工事の施工から工事完了、検査に係る関係書類一式の書類審査を行い、その後、現地確認を実施した。

第4 審査の結果

令和5年度の一般会計歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書はいずれも関係法規に準拠して作成されており、各計数は適正なものとして認められた。

第5 決算の概要

1 総括

(1) 全体の収支

令和5年度一般会計の歳入歳出予算現額は2,023,799,000円である。

歳入決算額は2,019,357,192円（予算現額に対する割合99.8%）で、歳出決算額は1,867,391,834円（予算現額に対する割合92.3%）で、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額は151,965,358円となり、翌年度へ繰り越すべき財源43,215,000円を差し引いた実質収支額は108,750,358円の黒字である。

また、実質収支額から、前年度の実質収支額64,799,164円を差し引いた単年度収支額は、43,951,194円の黒字である。

歳入決算額を前年度と比較すると、50,795,785円（2.6%）の増加、歳出決算額は、60,145,591円（3.3%）の増加となった。

(2) 収支の概要

(単位：千円)

区 分	当年度 A	前年度 B	比較増減	
			増減 A - B	率 (%)
予 算 現 額	2,023,799	1,960,243	63,556	3.2
歳 入 決 算 額	2,019,357	1,968,561	50,796	2.6
歳 出 決 算 額	1,867,392	1,807,246	60,146	3.3
差 引 残 額	151,965	161,315	△9,350	△5.8
翌年度 へ繰り 越すべ き財源	(1) 継続費逡次 繰越額	0	0	—
	(2) 繰越明許費 繰越額	43,215	96,516	△53,301
	(3) 事故繰越し 繰越額	0	0	—
実 質 収 支 額	108,750	64,799	43,951	67.8

※実質収支額＝歳入決算額－歳出決算額－翌年度へ繰り越すべき財源

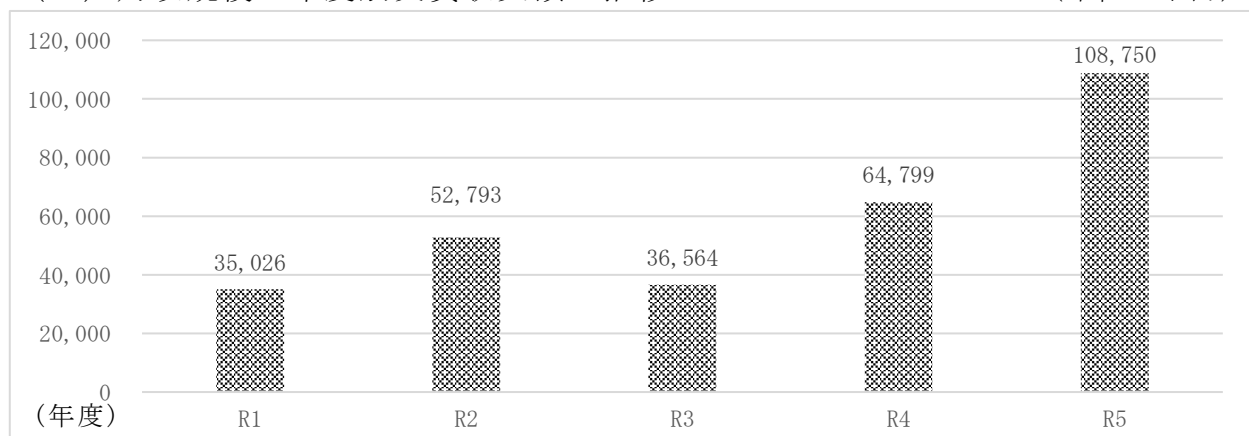
(3) 財政規模の年度別推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額	1,759,692	1,761,413	1,834,602	1,960,243	2,023,799
歳入決算額	1,777,981	1,775,694	1,841,464	1,968,561	2,019,357
歳出決算額	1,742,955	1,721,438	1,740,048	1,807,246	1,867,392
差引残額	35,026	54,256	101,416	161,315	151,965
翌年度へ繰り 越すべき財源	0	1,463	64,853	96,516	43,215
実質収支額	35,026	52,793	36,564	64,799	108,750

(4) 財政規模の年度別実質収支額の推移

(単位：千円)



第6 歳入決算額の状況

歳入決算額は、2,019,357,192 円（前年度対比 50,796 千円、2.6%増）である。前年度に対して増加となった科目は、次のとおりである。

- 1 款 分担金及び負担金 1,357,129 千円（前年度対比 40,809 千円、3.1%増）
- 5 款 繰越金 161,315 千円（前年度対比 59,898 千円、59.1%増）

前年度に対して減少となった科目は、次のとおりである。

- 2 款 使用料及び手数料 364,126 千円（前年度対比△5,516 千円、△1.5%）
- 3 款 財産収入 109,947 千円（前年度対比△11,510 千円、△9.5%）
- 6 款 諸収入 1,640 千円（前年度対比△10,685 千円、△86.7%）
- 7 款 組合債 25,200 千円（前年度対比△22,200 千円、△46.8%）

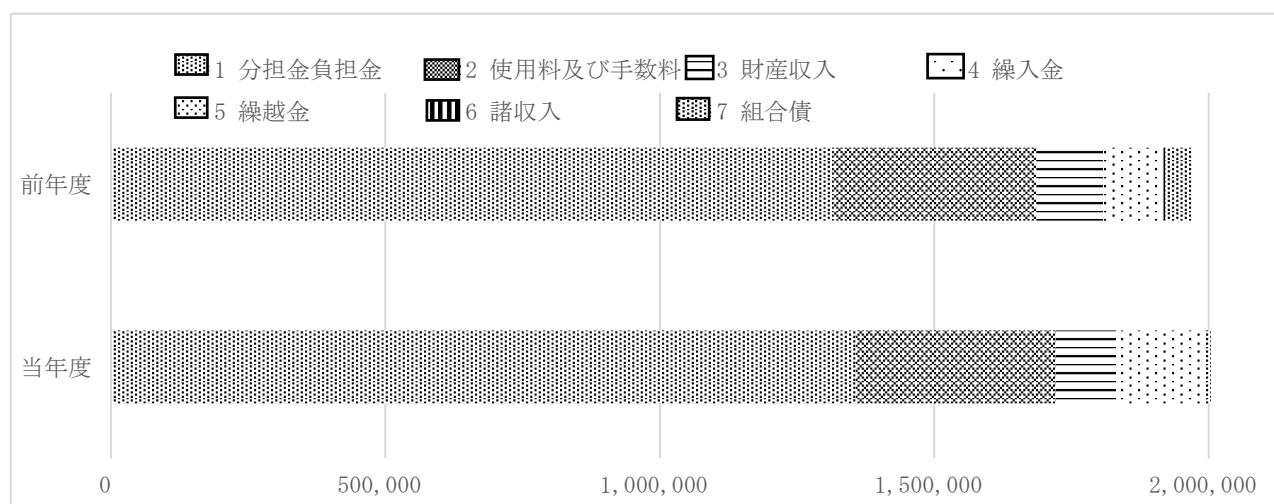
○歳入決算の状況

（単位：千円）

款	当初 予算額	予算現額	収入済額					
			当年度	収入率（%）		前年度	増減	増減率（%）
				対当初 予算	対予算 現額			
1 分担金及び負担金	1,492,620	1,357,260	1,357,129	90.9	100.0	1,316,320	40,809	3.1
2 使用料及び手数料	361,007	360,326	364,126	100.9	101.1	369,642	△5,516	△1.5
3 財産収入	91,264	99,428	109,947	120.5	110.6	121,457	△11,510	△9.5
4 繰入金	1	1	0	0	0	0	0	—
5 繰越金	20,000	161,315	161,315	806.6	100.0	101,417	59,898	59.1
6 諸収入	1,546	1,569	1,640	106.1	104.5	12,325	△10,685	△86.7
7 組合債	121,800	43,900	25,200	20.7	57.4	47,400	△22,200	△46.8
合計	2,088,238	2,023,799	2,019,357	96.7	99.8	1,968,561	50,796	2.6

歳入決算の前年度比較表

（単位：千円）



1 款 分担金及び負担金

歳入決算総額に対する構成比率は 67.2% であり、前年度と比較すると 40,809 千円 (3.1%) の増加となった。

このうち、分担金は、1,269,629 千円で前年度対比 39,685 千円 (3.2%) の増加となり、負担金は、87,500 千円で前年度対比 1,124 千円 (1.3%) の増加となった。

この主な要因は、分担金においては、じん芥処理費の自動燃焼装置点検整備の実施に伴う機械点検整備料や 2 号炉火格子下コンベヤケーシング等交換工事による焼却炉補修工事が増加となったことなどによるものである。

また、負担金においては、蓮田市及び白岡市の世帯数の増加によるもののほか、令和 4 年度から蓮田市において、環境センターだよりの全戸配布を実施したことによるものである。

(単位：千円)

項	当初予算額	予算現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 分担金	1,404,657	1,269,629	1,269,629	90.4	100.0	1,229,944	39,685	3.2
2 負担金	87,963	87,631	87,500	99.5	99.9	86,376	1,124	1.3
合 計	1,492,620	1,357,260	1,357,129	90.9	100.0	1,316,320	40,809	3.1

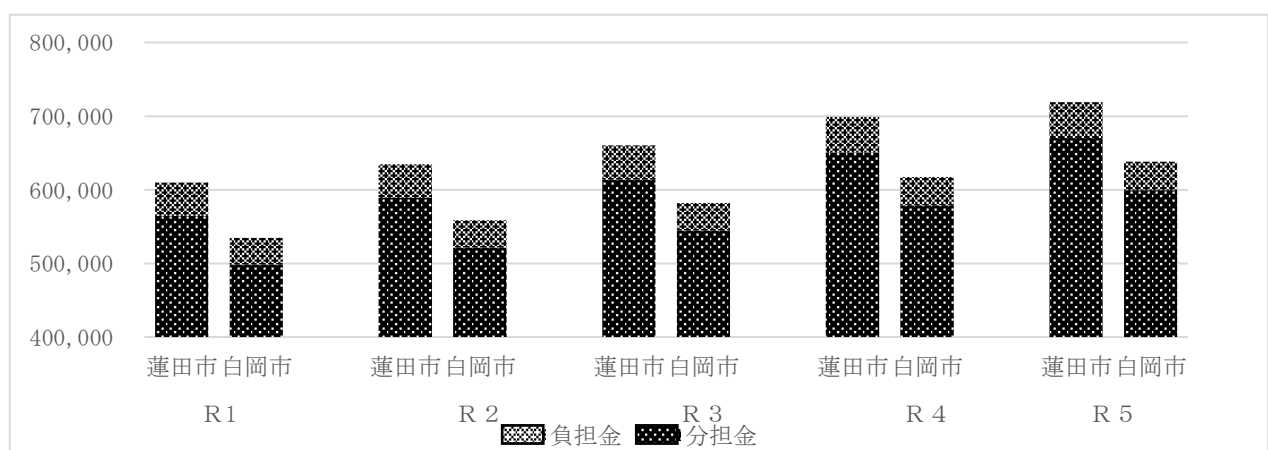
分担金及び負担金の増減推移

(単位：千円)

		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
蓮田市	分担金	564,546	588,798	613,807	650,726	670,172
	負担金	45,476	46,031	46,700	46,971	47,534
	全戸配布 負担金				1,328	1,462
白岡市	分担金	498,616	521,809	544,723	579,218	599,457
	負担金	36,268	36,818	37,491	38,078	38,504

分担金及び負担金の年度別推移

(単位：千円)



2 款 使用料及び手数料

歳入決算総額に対する構成比率は 18.0% であり、前年度と比較すると 5,516,033 円 (△1.5%) の減少となった。

この主な要因は、ごみ手数料が 349,887 千円で前年度対比 5,365 千円 (△1.5%) の減少となったことにあるが、これは、社会活動がコロナ禍以前の状態に戻り、ごみの搬入量が減少したことなどにより、搬入ごみ手数料が前年度対比 3,680 千円 (△3.3%) の減少になったことなどによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 使用料	61	61	68	111.5	111.5	62	6	9.7
2 手数料	360,946	360,265	364,057	100.9	101.1	369,580	△5,523	△1.5
合 計	361,007	360,326	364,126	100.9	101.1	369,642	△5,516	△1.5

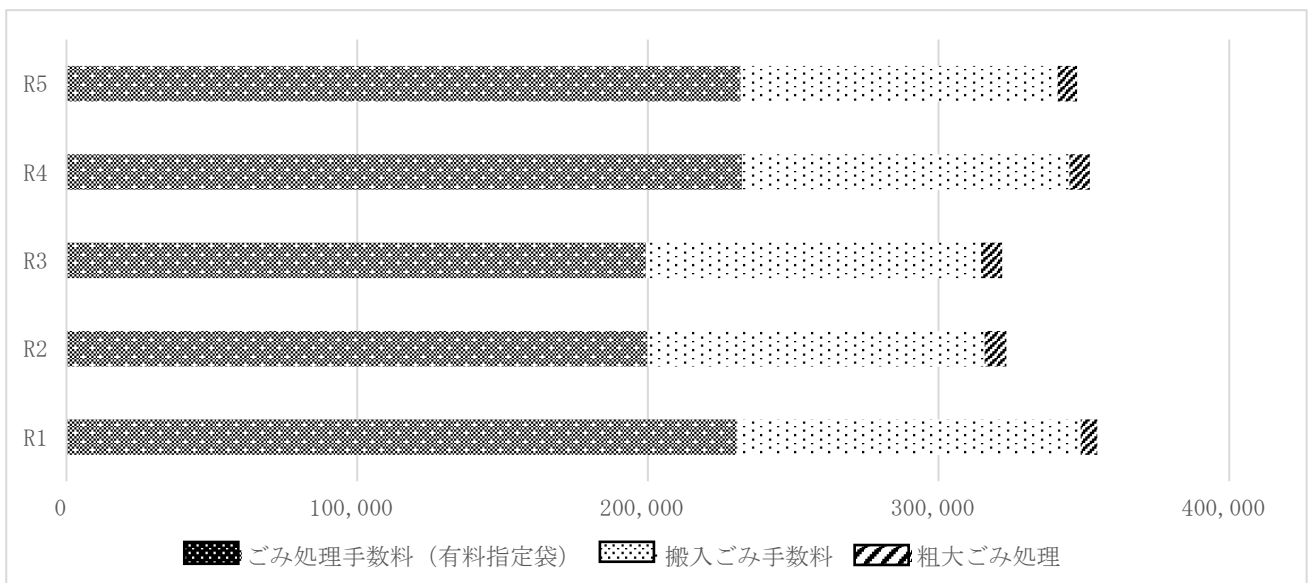
主な手数料の増減推移

(単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ごみ 手 数 料	ごみ処理手数料 (有料指定袋)	230,505	199,863	199,321	232,392	231,906
	搬入ごみ手数料	118,313	116,013	115,290	112,666	108,985
	粗大ごみ処理 手数料	5,814	7,400	7,268	6,978	6,802

主な手数料収入の年度別推移

(単位：千円)



3 款 財産収入

歳入決算総額に対する構成比率は 5.4% であり、前年度と比較すると △11,510,634 円 (△9.5%) の減少となった。

このうち、財産売却収入は 109,946 千円で前年度対比 11,511 千円 (△9.5%) の減少となった。

この主な要因は、売却単価の下落や売却量の減少などにより、鉄・アルミ売却が前年度対比 3,156 千円 (△5.0%)、ペットボトル売却が前年度対比 9,681 千円 (△35.8%)、古紙類売却が前年度対比 72 千円 (△0.2%) とそれぞれ減少となったことによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 財産運用収入	1	1	0	0	0	0	0	-
2 財産売却収入	91,263	99,427	109,946	120.5	110.6	121,457	△11,511	△9.5
合 計	91,264	99,428	109,947	120.5	110.6	121,457	△11,510	△9.5

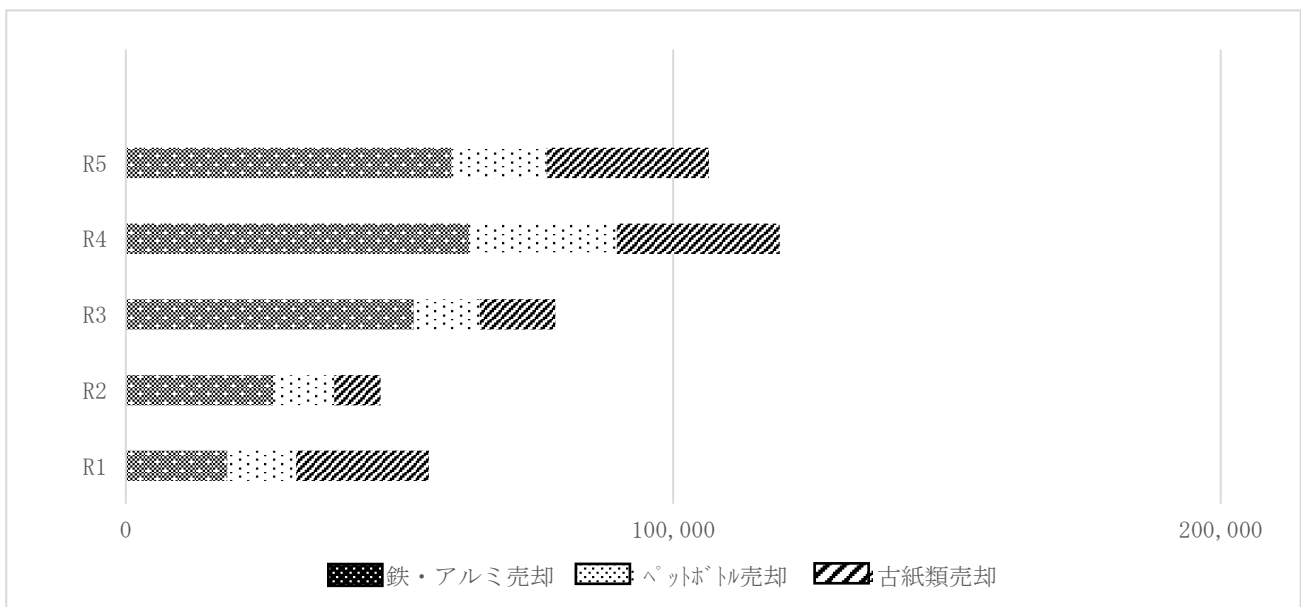
主な財産収入の増減推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
鉄・アルミ売却	18,615	26,896	52,639	62,664	59,508
ペットボトル売却	12,494	11,159	12,041	27,056	17,375
古紙類売却	24,257	8,462	13,779	29,734	29,662

主な売却した財産収入の年度別推移

(単位：千円)



5 款 繰越金

歳入決算総額に対する構成比率は 8.0%であり、繰越明許費繰越金等により、前年度と比較して 59,898,090 円 (59.1%) の増加となった。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 繰越金	20,000	161,315	161,315	806.6	100.0	101,417	59,898	59.1

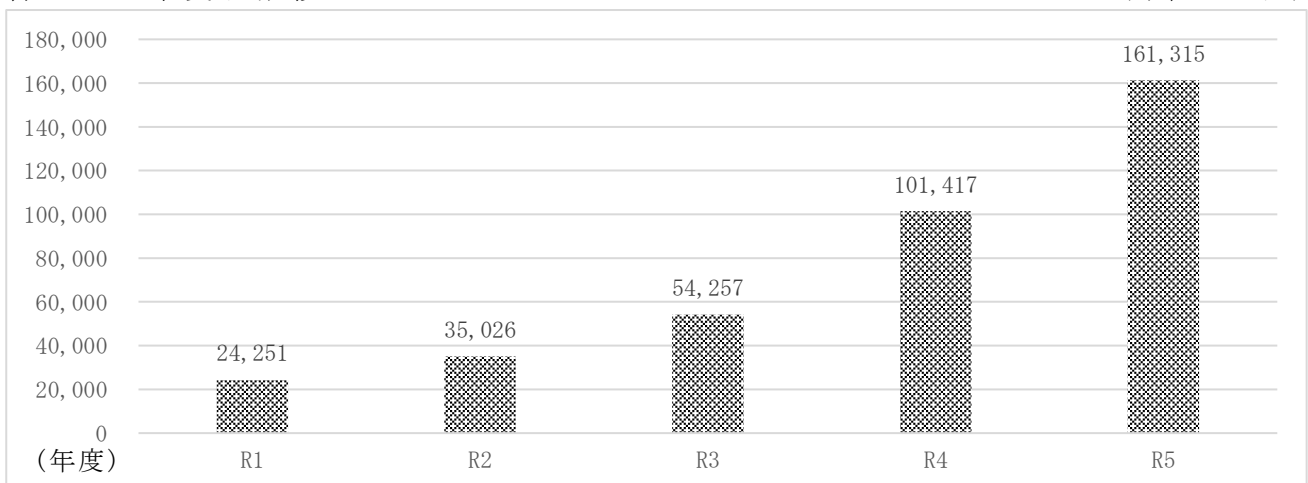
繰越金の増減推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
繰越金	24,251	35,026	54,257	101,417	161,315

繰越金の年度別推移

(単位：千円)



6 款 諸収入

歳入決算総額に対する構成比率は 0.1%であり、前年度と比較すると 10,684,609 円 (△86.7%) の減少となった。これは、電力供給事業者の事業撤退に伴う違約金 7,615 千円 (皆減) や、降雹被害による一軸破碎機のテント修繕に伴う災害共済金 2,376 千円 (皆減) がなくなったことなどによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 預金利子	1	1	0	0	0	0	0	—
2 雑入	1,545	1,568	1,640	106.1	104.6	12,325	△10,685	△86.7
合計	1,546	1,569	1,640	106.1	104.5	12,325	△10,685	△86.7

7 款 組合債

歳入決算総額に対する構成比率は 1.3% であり、前年度と比較すると 22,200,000 円 (△46.8%) の減少となった。これは、ごみ焼却施設のクレーン補修工事に係る財源として、新たに 18,700 千円を関東財務局から借入れる予定であったが、当該事業を繰越したことにより、減少となったものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 組合債	121,800	43,900	25,200	20.7	57.4	47,400	△22,200	△46.8

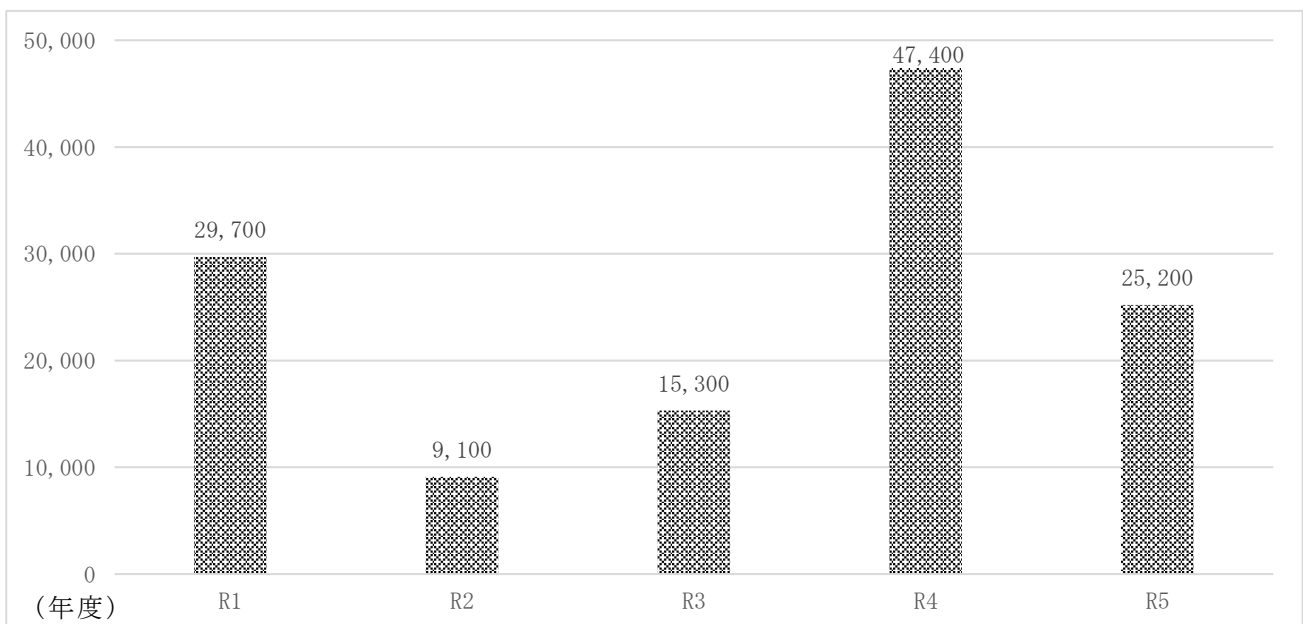
組合債の増減推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
組合債	29,700	9,100	15,300	47,400	25,200

組合債の年度別推移

(単位：千円)



第7 歳出決算額の状況

歳出決算額は1,867,391,834円（前年度対比60,146千円、3.3%増）である。
前年度に対して増加となった科目は、次のとおりである。

- 1 款 議会費 1,391千円（前年度対比 329千円、31.0%増）
- 3 款 衛生費 1,359,464千円（前年度対比 54,481千円、4.2%増）
- 4 款 公債費 157,887千円（前年度対比 10,660千円、7.2%増）

前年度に対して減少となった科目は、次のとおりである。

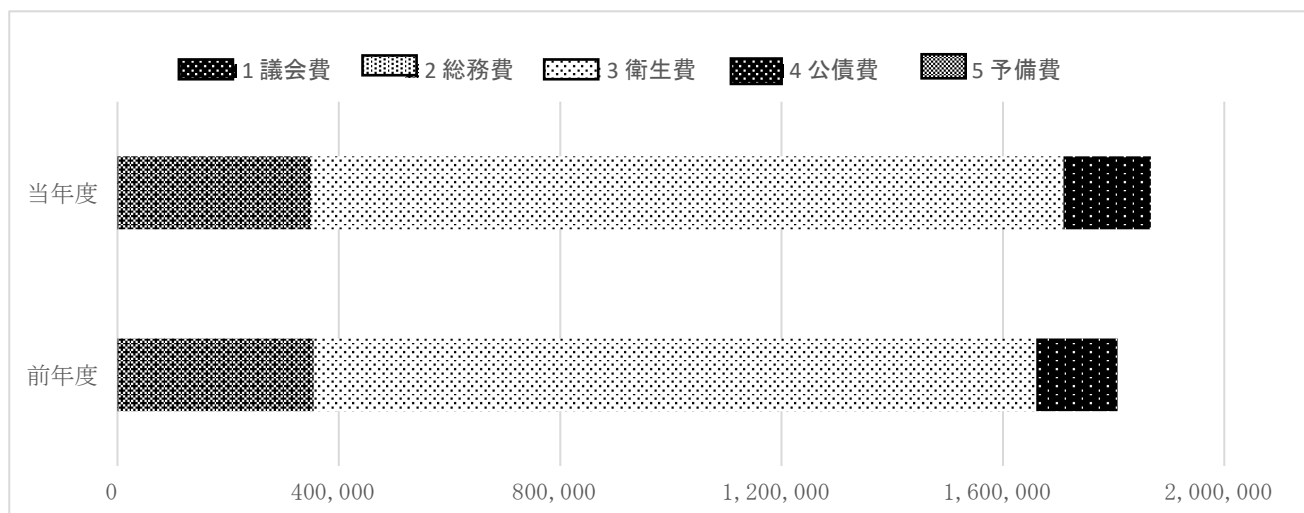
- 2 款 総務費 348,650千円（前年度対比△5,324千円、1.5%減）

（単位：千円）

款	当初 予算額	予算現額	支出済額					
			当年度	執行率（%）		前年度	増減	増減率 （%）
				対当初 予算	対予算 現額			
1 議会費	1,563	1,453	1,391	89.0	95.7	1,062	329	31.0
2 総務費	345,253	365,891	348,650	101.0	95.3	353,974	△5,324	△1.5
3 衛生費	1,507,388	1,493,402	1,359,464	90.2	91.0	1,304,983	54,481	4.2
4 土木費	69,828	0	0	0	0	—	0	—
5 公債費	159,206	158,053	157,887	99.2	99.9	147,227	10,660	7.2
6 予備費	5,000	5,000	0	0	0	0	0	—
歳出合計	2,088,238	2,023,799	1,867,392	89.4	92.3	1,807,246	60,146	3.3

歳出決算の年度別比較表

（単位：千円）



1 性質別歳出決算

経常的経費の決算額は、1,431,567千円（前年度対比△4,168千円、0.3%減）で、投資的経費の決算額は、222,938千円（前年度対比25,654千円、13.0%増）、その他の経費（公債費及び積立金）は、212,887千円（前年度対比38,660千円、22.2%増）となっている。

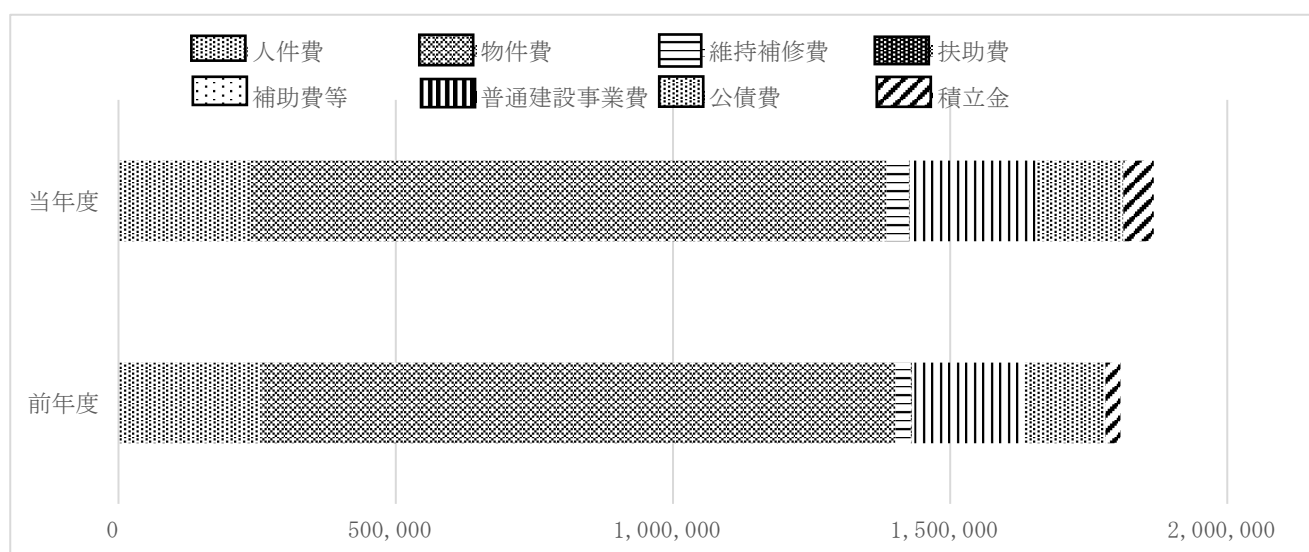
性質別歳出決算状況

（単位：千円）

区 分		当年度		前年度		比較増減	
		決算額	構成比 (%)	決算額	構成比 (%)	決算額	率 (%)
経常的 経 費	人 件 費	238,536	12.8	258,144	14.3	△19,608	△7.6
	物 件 費	1,147,055	61.4	1,143,456	63.3	3,599	0.3
	維持補修費	40,049	2.1	27,666	1.5	12,383	44.8
	扶 助 費	1,985	0.1	2,155	0.1	△170	△7.9
	補助費等	3,942	0.2	4,314	0.2	△372	△8.6
	計	1,431,567	76.6	1,435,735	79.4	△4,168	△0.3
投資的 経 費	普通建設事業費	222,938	11.9	197,284	10.9	25,654	13.0
	計	222,938	11.9	197,284	10.9	25,654	13.0
その他 の経費	公 債 費	157,887	8.5	147,227	8.2	10,660	7.2
	積 立 金	55,000	3.0	27,000	1.5	28,000	103.7
	計	212,887	11.5	174,227	9.7	38,660	22.2
歳 出 合 計		1,867,392	100.0	1,807,246	100.0	60,146	3.3

性質別歳出決算の前年度比較表

（単位：千円）



2 款別の主な増減の理由

1 款 議 会 費

予算現額 1,453,000 円に対して決算額は 1,391,492 円であり、歳出総額に対する構成比率は 0.1%で、宿泊による議会視察研修を実施したことにより、前年度と比較して 329,839 円 (31.1%) の増加となった。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 議会費	1,563	1,453	1,391	89.0	95.7	1,062	329	31.0

2 款 総 務 費

予算現額 365,891,000 円に対して決算額は 348,649,828 円であり、歳出総額に対する構成比率は 18.7%で、前年度と比較して 5,324,461 円 (△1.5%) の減少となった。

減少となった主なものは、職員給料 12,659 千円 (△10.4%)、職員手当等 6,352 千円 (△8.4%) などである。

一方、増加となったものは、一般廃棄物処理基本計画改定業務委託 2,673 千円 (皆増)、電話交換機交換工事 3,025 千円 (皆増) などである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 総務管理費	345,044	365,682	348,448	101.0	95.3	353,773	△5,325	△1.5
2 監査委員費	209	209	202	96.7	96.7	201	1	0.5
合 計	345,253	365,891	348,650	101.0	95.3	353,974	△5,324	△1.5

3 款 衛 生 費

予算現額 1,493,402,000 円に対して決算額は 1,359,463,913 円であり、歳出総額に対する構成比率は 72.8%で、前年度と比較して 54,480,724 円 (4.2%) の増加となった。

その内訳としては、清掃総務費が 32,519 千円 (△7.7%) の減少、じん芥処理費が 68,457 千円 (8.5%)、し尿処理費が 17,835 千円 (24.4%)、リサイクル促進費が 708 千円 (24.0%) の増加となっている。

増加となった主なものは、じん芥処理費の機械点検整備料 14,912 千円、焼却炉補修工事 19,730 千円である。

一方、減少となった主なものは、清掃総務費の光熱水費 53,496 千円及びじん芥処理費の機械修繕料 9,392 千円である。

また、主な工事として、2・3号炉燃焼ストーカプッシュロッド等交換工事 34,100 千円を行った。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 清掃費	1,507,388	1,493,402	1,359,464	90.2	91.0	1,304,983	54,481	4.2

清掃費の目別内訳

(単位：千円)

目	当初予算額	予算現額	支出済額			
			当年度	前年度	増減	増減率 (%)
1 清掃総務費	532,861	417,125	387,100	419,619	△32,519	△7.7
2 じん芥処理費	884,206	968,501	877,791	809,334	68,457	8.5
3 し尿処理費	86,784	103,460	90,910	73,075	17,835	24.4
4 リサイクル 促進費	3,537	4,316	3,663	2,955	708	24.0
合 計	1,507,388	1,493,402	1,359,464	1,304,983	54,481	4.2

5 款 公 債 費

予算現額 158,053,000 円に対して決算額は 157,886,601 円であり、歳出総額に対する構成比率は 8.5%で、前年度と比較して 10,659,489 円 (7.2%) の増加となった。これは、コンプレッサー更新工事等の元金及び利子の償還が開始されたことによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 元金	156,620	155,607	155,606	99.4	100.0	144,521	11,085	7.7
2 利子	2,586	2,446	2,280	88.2	93.2	2,706	△426	△15.7
合 計	159,206	158,053	157,887	99.2	99.9	147,227	10,660	7.2

地方債元金償還金及び地方債利子の増減推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
元 金	168,035	169,457	142,035	144,521	155,606
利 子	4,184	3,649	3,154	2,706	2,280

第8 財産に関する調書 (決算書26頁から29頁記載のとおり)

1 公有財産

(1) 土地及び建物

前年度からの増減なし

2 物 品

ハイリーチショベルローダーは、車両の老朽化により処分したことから減となった。

また、電話回線をISDN回線から光回線に変更したことにより、デジタル交換機を更新したが、決算年度末現在高等に変更はない。

3 基 金

(1) 施設整備基金の状況

55,000,288円の積立を行い、年度末現在高は、次表のとおりである。

(単位：円)

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高		決算年度末現在高
現金	375,787,444	55,000,288		430,787,732
		積立額	取崩額	
		55,000,288	0	

(単位：円)

年 度	当該年度積立額 (運用利子含む)	施設整備 基金残高
平成25年度	25,009,500	25,009,500
平成26年度	40,033,247	65,042,747
平成27年度	55,086,687	120,129,434
平成28年度	40,042,837	160,172,271
平成29年度	47,399	160,219,670
平成30年度	5,026,622	165,246,292
令和元年度	60,037,648	225,283,940
令和2年度	55,501,878	280,785,818
令和3年度	68,001,258	348,787,076
令和4年度	27,000,368	375,787,444
令和5年度	55,000,288	430,787,732

公有財産、物品及び基金の管理及び運営等は、それぞれ目的に基づいて適正に管理されていた。

第9 むすび

審査の結果については、2頁に記載したとおりであるが、審査の結果を踏まえ、次のとおり提言要望し、一般会計決算審査及び行政監査のむすびとする。

提言要望事項

1 蓮田白岡衛生組合のごみ処理施設は竣工後29年が経過し、老朽化が顕著なため、令和5年6月に策定したごみ処理施設整備基本構想に基づく、基幹的設備の改良工事が計画されており、現在、当該工事に向けた整備計画である長寿命化総合計画を策定しているところである。

当該工事は、安定的な廃棄物処理を継続する上で必要不可欠なものであるが、その実現のためには市民の十分な理解が求められることから、実施時期や実施内容並びに財政負担などについて、市民にも先が見える計画を策定するとともに、計画の具体的内容の周知や普及啓発活動の推進に努められたい。

また、長寿命化総合計画に基づく施設や設備の改良工事が終了するまでの間は、老朽化した施設・設備の的確な点検・整備、修繕に努めごみ処理施設の安定的な稼働を図られたい。

2 令和5年度の不用額は9,449万2,166円で、前年度と比較して4,421万1,409円の増加となった。

昨年度の一般会計歳入歳出決算審査意見書においても不用額の縮減について指摘したところであるが、依然として、不用額の縮減には至っていない状況である。

エネルギー価格の高騰などによる予算執行管理の困難さも理解できるところであるが、組合の主な財源は蓮田市及び白岡市からの分担金であり、これらは市民の負担であることを再認識し、適切な予算の執行管理を望むものである。

3 2款 総務費、1項 総務管理費、1目 一般管理費、10節 需用費印刷製本費の「ごみの分別手引き作成」に当たって、2者から見積もりを徴取し、安価な1者と22万1,100円で、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号の規定に基づく随意契約を締結していた。

一方で、蓮田白岡衛生組合契約実務マニュアルでは、設計金額又は契約金額が10万円を超えるものについては3者以上から見積もりを徴取することと定めていることから、今後は当該マニュアルの規定を遵守し、適切な契約事務の執行に努められたい。